

市民活動 だより VOL.21

2015.3.15号

発行：田原市民活動支援センター（市役所市民協働課）

活動支援情報

平成27年度市民協働関連補助金の申請受付が2月25日[※]に始まりました！
あなたのアイデアで、田原のまちをもっと元気にしませんか？

新規団体活動補助金

新たに仲間を集って立ち上がった団体さんを支援します。
市民活動を始めてみたけれど、活動資金の調達は難しい…
そんなあなた、ぜひご活用ください。

- 募集：平成28年1月29日^金まで随時
- 審査：書類審査
- 補助：補助率10/10、上限5万円（一団体1回交付）
- 対象：設立2年未満の団体

上限額
アップ!



市民活動チャレンジ支援補助金

青年層の団体さんを支援します。
仲間と一緒に市民活動をしてみませんか？

- 募集：平成28年1月29日^金まで随時
- 審査：書類審査
- 補助：補助率1/2、上限10万円（一団体1回交付）
- 対象：青年層（おおむね18～40歳）の市民5人以上の団体



例えばこんな活動に…

- お祭りの会を立ち上げ、地元を盛り上げる活動
- ご当地スマホカバーのデザインで観光PR活動
- オリジナルの観光マップ、ウォーキングマップ、食べ歩きマップの作成など

市民協働まちづくり事業補助金

田原市で福祉、環境保全、地域づくりなどの公益活動を行う団体さんを支援します。

【事業費10万円以上の事業】

- 募集：平成27年3月31日^金まで ※必着
- 審査：書類審査、公開審査会（4月15日^水）
- 補助：補助率1/2、上限20万円

【事業費10万円未満の事業】

- 募集：平成28年1月29日^金まで随時
- 審査：書類審査
- 補助：補助率1/2、上限5万円

例えばこんな活動に…

- 清掃活動を通して環境を学ぶ活動
- 子育て中のパパやママで集まって情報交換会
- お年寄のお話を聞く交流活動など

人材養成活動補助金

市民活動団体の皆さんの講座受講を支援します。

- 募集：平成28年1月29日^金まで随時
- 審査：書類審査
- 対象経費：団体の活動にまつわる講座や研修会への交通費、参加費など



補助金のことがよくわからない…

そんなときは
市民活動支援センターへ!!

「こんな活動は補助の対象になるの？」
「申請書類の書き方がわからない」
などのご相談にお答えします。申請書を書き始める前に、センターへお気軽にお越しください。あなたのアイデア実現のお手伝いをさせていただきます。



※いずれも予算の範囲内

※H27年度予算が確定するまでは仮受付とします。

※翌3月頃開催の事業報告会へ出席していただきます。

市民活動団体から、活動報告が届きました

あつみ NPO ネットワーク

平成26年度田原市市民活動向上事業補助金採択事業

第12回 あつみNPOの集い



▲ラウンジの様子



▲基調講演を行う池田香代子氏

2月8日(日)、渥美文化会館多目的ホール及びラウンジ、和室などで、「第12回あつみNPOの集い」を開催しました。「出会って 広がって 深め合って…ネットワーク!」をテーマに、36の参加団体が、それぞれの活動を発表したり、交流したりしました。ラウンジでは、手作り品のバザーやフリーマーケット、多目的ホールではパネル・ブース展示の他、ステージ発表も行われ、市民活動の関係者はもちろん、市民の皆さんと触れ合いながら集う一日となりました。

午後は、絵本「世界がもし100人の村だったら」の著者池田香代子氏による「100人の村 わたしが生きる あなたと生きる」と題した基調講演を行い、格差、貧困、暴力の現実を見据えて多くの大切な言葉をいただきました。

今まさに話題となっている中東の問題を例に挙げ、「その手法のあるべき姿は漢方薬のようなもの。暴力の力ではありません。人の心に信頼を育て善意を積み重ねてできるエネルギーなのです」「そのためには、何よりもまず衣食住と教育と医療を整えることが大切です」「いまのラッキーなステージにいる私たちこそが、変えられる、変えなくてはいけない」といった言葉を、来場者にお話しいただきました。

さて、設立13年目を迎えた「あつみNPOネットワーク」のキーワードは「一緒に楽しく活動しよう!!」です。そのワードどおり、みんなで一緒に楽しめる集いを開催することができました。

田原リレーマソン実行委員会

平成26年度田原市市民活動チャレンジ支援補助金採択事業

第1回 田原リレーマソン大会

平成26年11月30日(日)サンテパルクたはらで、第1回リレーマソン大会を開催しました。

「人が人を誘い合い参加する場所、参加した人同士の出会いや再会の場所のような、この田原市に住む人たちの繋がりがよりぐっと強くなる場所を作りたい。参加した人、関わった人たちの繋がりがより広がり、強くなることを願い」企画されたこの大会には、52チーム312名が参加し、チームでタスキをつなぎ、楽しみながらハーフリレーマソンを走りました。当日は天候にも恵まれ、仮装あり、被り物ありの賑やかな大会となりました。当日の様子や結果はホームページにて掲載中です。ぜひご覧ください。(http://itiya.boon.jp/tahara-relay/)

私達にとっても初めての試みでもあり、当日ボランティアスタッフ30名余りの方をはじめ、本当に多くの方のご協力により無事に開催することが出来ました。改めてこの場をお借りし、関係して頂いたすべての皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。次回もスポーツの秋に開催する予定です。今回参加できなかった方は是非お仲間を誘い合い、チームで走ることを楽しんでみませんか。



▲大会の様子



▲手をつないで笑顔で走る参加者

NPO 木遊びまごまごネット

平成26年度田原市市民協働まちづくり事業補助金採択事業

子どもと木のおもちゃで遊ぶ

私たち「NPO木遊びまごまごネット」も設立から2年目を迎え、いろいろなイベントに参加できるようになりました。

平成26年5月の「アースディたはら」では、五月晴れの下、竹ドームを組み、木のおもちゃを並べ、よちよち歩きの幼児から小学生までたくさんの子ども達が遊んでいました。

11月の「福祉のつどい」では、スタンプラリーにも参加し、多くの子ども達が遊びに来てくれました。細長い積み木を高く積み上げるおもちゃでは、高くなるとお父さんに肩車をしてもらって積み、くずれてもまた積み上げて完成させていました。その後みんなでワイワイ言って「一、二の三」で積み上げた積み木を壊し、歓声を上げていました。「浜名湖ガーデンパーク」、「蒲郡クラフト展」にも出展し、それぞれの会場で好評でした。

2月8日の「第12回あつみNPOの集い」では、雨の中にもかかわらず大勢の子ども達が来てくれました。

各会場では寄付を募り、頂いた資金で東北の被災地の保育園に木のおもちゃを届け、喜んでいただきました。今後は、子ども達が喜ぶ楽しい木のおもちゃを、希望する保育園等へ貸し出しすることも考えてみたいと思っています。



▲積み木を積み上げる子ども達



▲竹のドームの中で遊ぶ子ども達

特定非営利活動法人 たはら国際交流協会

第5回 東三河日本語スピーチコンテスト



▲発表者



▲表彰式の様子

1月25日(日)田原文化会館文化ホールにおいて「第5回東三河日本語スピーチコンテスト」を開催しました。小中学校の部には4カ国13名が、高校生以上一般の部には6カ国12名が出場し、日本に住んでいて思うことや経験したこと、出身国との違いや日本っておもしろい、といったことを熱く語りました。

会場は、各市からの出場者を応援する方々や地元田原市の一般市民で賑わい、外国人である彼らが母国語ではない日本語で語るスピーチに耳を傾けました。スピーチを聴いた方から「とてもいい話が聴けた」、「元気が出た。自分も頑張ろうと思った」などと、明るい声が多数寄せられました。

結果は、小中学生の部では、ブラジル出身の山脇ユミさんが、高校生以上一般の部では、同点で韓国出身のキム・ジホさんと、ブラジル出身の早野良恵さんの2人が最優秀賞に輝きました。様々な地域や国々出身の多くの外国人と市民が、地域で一緒に快適に暮らしていくために、それぞれの想いを伝えお互いの文化を理解していく良い機会になりました。

